

名古屋高速道路50年の歴史をパネルと映像で綴る

# 名古屋高速 歴史パネル展

名古屋の発展とともに歩んできた  
名古屋高速道路公社が設立から50周年を迎えました。  
記念すべき名古屋高速道路着工から、  
より便利に、より身近な存在として延長されてきたその歴史をパネル展でふり返ります。  
あなたの思い出とともに、懐かしい名古屋の道をご覧ください。



■ 50周年記念映像も上映!

■ 2021年春、高速道路料金が変わります!

金山総合駅会場

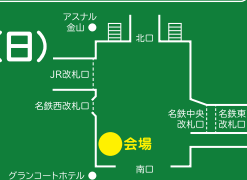
入場無料

2021年2月27日(土)・28日(日)

午前9:00～午後5:00

金山総合駅コンコース

(南口付近)



名古屋都市センター会場

入場無料

2021年3月2日(火)～21日(日)

午前10:00～午後6:00 (土・日・祝日は  
午後5:00まで)

名古屋都市センター 11階展示スペース

(まちづくり広場常設展示コーナー)





# 名古屋高速の歴史を刻む、まちしるべ(歴史看板)が誕生。 多くの地元の皆さまのご理解とご協力の記念碑でもあります。

## 名古屋高速道路着工の地



1972年1月、この堀田地区から名古屋高速道路は、建設の第一歩を踏み出しました。

左の写真は、現在の堀田駅南交差点の南側、着工第1号の橋脚の建設当時の様子です。しかし、当時は、自動車交通による環境への影響が大きな社会問題となった時期であり、1973年3月、都市高速道路関連予算が凍結となり、工事を一時中止しました。

右の写真は、名鉄名古屋本線堀田駅北側の橋脚が立ち上がった様子です。

その後、沿線にお住まいの方々のご理解とご協力を得て、最初の着工から7年半の歳月を経て完成し、1979年7月25日、高辻～大高間10.9キロが名古屋で初めての都市高速道路として開通しました。



## 1号楠線の建設



国道41号の新川中橋(庄内川・矢田川)付近は、交通渋滞の激しい箇所であったため、名古屋高速道路1号楠線の早期完成を目指し、1972年9月に、庄内川・矢田川内の工事から着手しました。

しかし、全国的に環境への意識が高まる中、事業を進めることへの理解を得るため、1978年9月、工事を一時中止しました。

その後、先行して整備した区間を利用して、交通渋滞を緩和させるため、萩野通に暫定出入口を設け、楠～萩野間2.2キロを開通させる計画を立てました。沿線にお住まいの方々のご理解とご協力を得て工事を再開し、最初の着工から16年後の1988年12月21日に楠～萩野間が開通しました。

1994年11月に萩野暫定出入口は、その役割を終え、1995年9月には1号楠線全線(楠JCT～東片端JCT間5.6キロ)が開通しました。

写真左: 庄内川・矢田川内に建設された橋脚橋桁  
写真右: 萩野暫定出入口



# 名鉄堀田駅前の橋脚に第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)の 競技種目と名古屋のまちのイメージが融合したラッピングアートが出現します。

名古屋高速道路公社と名古屋芸術大学の設立・開学50周年を機会にコラボレーションして始まった橋脚ラッピングアート。

地域の魅力向上と賑わいの創出を図ることを目的に既に名古屋市内に10点のアートが掲出されています。

今回それら全てを、名古屋高速着工の地であり、大会のメイン会場である瑞穂公園陸上競技場に近い堀田に集約して掲出します。



#aichinagoya2026  
#nagoyakousoku50  
#nagoyageidai50



これら10点のラッピングアートは名古屋芸術大学(ヴィジュアルデザインコース)の作品です。

※名古屋高速道路橋脚のラッピングアートをご覧の際は、車の往来等に十分注意の上、安全な場所からご覧ください。また、お車でお越しの際は十分に安全を確認し、路上駐車はお控えいただきますよう、よろしくお願いいたします。

ご紹介したアート10点は、ネクス・プラザ(名古屋高速道路広報資料センター)でもご覧いただけます。

名古屋市北区清水四丁目17-30 名古屋高速道路公社黒川ビル内 Tel.052-919-3241

ネクス・プラザへ行こう! NEX PLAZA information

アクセス 地下鉄名城線「黒川」駅1番出口より南へ徒歩5分 開館時間 AM10:00～PM5:00(入場無料)

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は翌日)・年末年始(12/29～1/3) 駐車場 地下1階 乗用車30台(無料)あり